

国際交流 Newsletter



編集・発行：白石市国際交流協会事務局（白石市役所まちづくり推進課内） ☎ 0224-22-1327 ✉ koryu@city.shiroishi.miyagi.jp

◆白石市国際交流協会の活動を紹介◆

白石消防署主催 \ やさしい日本語を使って /
第5回 外国人向け救急講習会を開催！

※参加外国人6名、協会ボランティア4名



2月10日（土）、白石消防署主催の外国人向け救急講習会が白石市防災センターで実施され、当協会より国際交流ボランティア4名が参加し、刈田郡内に勤務する外国人6名と一緒に心肺蘇生法と自動体外式除細動器（AED）の使い方を学びました。

外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」を用いたの救急講習会は、今回で3回目となります。救急隊員とボランティアの中には昨年12月に実施した「やさしい日本語研修会」に参加した方もおり、早速実践する機会となりました。



講習会前のグループ毎のあいさつでは、ボランティアは外国人参加者の母国語で話しかけ緊張をほぐしました。また、冒頭では、消防署で用意した人体のイラストを使い、心臓や肺などの臓器の位置を確認しました。

参加したボランティアは、休憩時間にも外国人参加者とコミュニケーションをとり、和やかな雰囲気をつくることに努め、そのおかげで講習会終了後は参加者から、「また参加したい」「家族と参加したい」「みなさんのゆっくりはっきりした日本語で聞き取りやすかった」などの感想がありました。



実践を終えて～感想～今後に向けて～

- ・心臓マッサージのときは、母国語で教えてもいいと、予め伝えておく。（途中で回数が抜けてしまった人もいた）
- ・小学生以上という表現があいまいで伝わりづらかった。
- ・事前に配布したワークシートで予習してきた。
- ・AED がどこに置いているか場所を教える。



参加者10名が救命入門コースの修了証を受取りました！

第11回 料理を通して世界を知る会



～ポルトガル編～

2024年2月19日（月）開催@白石市中央公民館

❖ 実演した料理 ❖

・Pasteis de Bacalhau (タラのコロッケ)

❖ 紹介した料理 ❖

・Canja de Galinha (丸鶏のスープ)

・Moelas Assados (ポルトガル風砂肝炒め)



▲ポルトガル料理愛好家 畠山英樹さん

今回は、仙台市在住のポルトガル料理愛好家である畠山英樹^{えいじゅ}さんを講師にお迎えし、ポルトガルについての文化講話と料理実演にてポルトガルの庶民的料理「タラのコロッケ」を紹介していただきました。

前半の文化講話では、ポルトガル語由来の日本語の紹介や食にまつわる話をしていただきました。あらゆる料理の質が高く、そして、豚肉、ワイン、チーズ、オリーブオイルなどは他のヨーロッパの国々のブランド品に負けていない。大西洋に面しているので漁業も盛んで魚の種類も豊富とのこと。畠山さんの講話を聴いて、ぜひポルトガルを訪れて実際に料理を食べてみたいという感想が多くありました。



後半の料理の実演では、参加者がこのコロッケの特徴であるラグビーボールのような形を2本のスプーンで成形することに挑戦しました。ポルトガルでポピュラーなタラのコロッケは衣がありません。パン粉も溶き卵も不要なので比較的簡単に作ることができます。そして、冷めてもおいしく食べられます！

また、畠山さんからは他のポルトガル料理も食べてほしいと、予定にはなかった料理2品もご用意いただき、大変美味しく3品を食しました。



★ホワイトストーンジャーナル - 国際交流 Newsletter Vol.190★

★LINE 公式アカウント



登録していただくと自動的に協会からのお知らせが届くほか、協会のホームページに簡単にアクセスでき閲覧することができます。ぜひお友だち登録してくださいね!(^^)!



協会ニュースレター



公式 LINE